

令和8年9月号

# 鹿浜こども園だより



令和8年9月1日  
足立区立鹿浜こども園  
第一園舎 Tel.3855-4447  
足立区鹿浜5-25-11  
第二園舎 Tel.3897-8515  
足立区鹿浜5-24-4-101  
園長 澤田 好

おうちで話してみませんか？

『あなたのからだは、あなたの大切なもの』

子どもたちが健やかに成長していくためには、知識だけではなく、「自分の命やからだは大切なもの」という感覚を幼い頃から育てていくことが大切です。生命（いのち）の安全教育というと、難しい話を想像するかもしれませんが、しかし、3歳頃からできることは、日々の生活の中にたくさんあります。例えば、「自分のからだは自分の大切なものだよ」

「嫌なことをされたら『いや』と言っていいよ」「お友達のからだも大切だから、触るときは『いい？』と聞こうね」「困ったときや怖いときは、いつでも大人に話していいんだよ」と伝えることです。

ご家庭でも、着替えや入浴、トイレなどの場面をきっかけに、自分のからだには大切な部分があること、人に見せたり触らせたりすることを無理にしないでよいことを、年齢に合わせて伝えてみてください。そして、子どもが「いや」「やめて」と言ったときには、「わがママを言わないの」と否定するのではなく、まず「嫌だったんだね」「言ってくれてありがとう」と受け止めることも大切です。もちろん、子どもがいつでも「いや」と言えるとは限りません。だからこそ、「嫌と言えなくてもあなたは悪くない」「困ったときは、何度でも大人に話していい」ということも伝えていきたいと思います。

園と家庭が一緒になり、子どもたちが「自分も大切、友達も大切」と感じながら、自分の命とからだを守る力を少しずつ育んでいきましょう。

※10月17日午後2時から未来大学の先生を招き、お子さんと一緒に生命の安全教育講演会を実施いたします。ぜひご参加ください。

園長 澤田 好

## 鹿浜こども園の教育目標

げんきなからだ  
やさしいところ  
かんがえるちから

心豊かで たくましい  
「遊ぶの大好き・笑顔いっぱいの子ども」  
を育てる

## 【行事予定】

| 9月  |   |                                       |
|-----|---|---------------------------------------|
| 1日  | 火 | 始業式（4・5歳児）<br>短時間保育児 11:45 降園<br>安全指導 |
| 3日  | 木 | 水害訓練                                  |
| 4日  | 金 | プール終わり（4・5歳児）                         |
| 8日  | 火 | 園内研修<br>短時間保育児 13:00 降園               |
| 15日 | 火 | 身体測定                                  |
| 16日 | 水 | 避難訓練                                  |
| 17日 | 木 | 運動会総練習                                |
| 24日 | 木 | 親子絵本読み語りデー<br>誕生日会                    |
| 25日 | 金 | お月見                                   |

| 10月 |   |                                     |
|-----|---|-------------------------------------|
| 1日  | 木 | 都民の日（短時間保育児休日）<br>内科検診（第二） 13:00    |
| 3日  | 土 | 運動会③④⑤                              |
| 5日  | 月 | 運動会振替休日（短時間保育児）<br>（3日に実施した場合）      |
| 8日  | 木 | 親子絵本読み語りデー                          |
| 9日  | 金 | 安全指導                                |
| 10日 | 土 | 運動会雨天時予備日                           |
| 13日 | 火 | 運動会振替休日予備日（短時間保育児）<br>（10日に実施した場合）  |
| 14日 | 水 | 身体測定<br>避難訓練（第一）                    |
| 15日 | 木 | 誕生日会<br>内科検診（第一） 13:00              |
| 16日 | 金 | 園内研修<br>短時間保育児 13:00 降園             |
| 17日 | 土 | 生命（いのち）の安全教育<br>第一園舎ホール 14:00～15:00 |
| 20日 | 火 | 幼保小連携公開保育                           |
| 21日 | 水 | 避難訓練（第二）                            |
| 22日 | 木 | 開園記念日（短時間保育児休日）                     |
| 29日 | 木 | ぶんぶく劇場                              |



ADACHI CITY



知ると分かる。  
すると変わる。  
SDGs MODEL ADACHI

### <ひよこ組>

水遊びをたくさん楽しみました。テラスでは、たらいや洗面器に入った水を、カップに入れたり出したりしながら、水の冷たさや不思議な感触を味わっていました。回数を重ねると、じょうろの水を頭から浴びてみたり、たらいに溜めた水面を手でバシャバシャ叩いて水しぶきを出してみたりと、遊び方もダイナミックになっていきました。

子どもたちの気づきや発見を見逃さず、一緒に楽しみながら、子どもの見ている世界を共有していきます。また、引き続き水遊びや小麦粉粘土遊びなど感触遊びを楽しめるようにしていきます。



#### ねらい

- ・水の気持ちよさや面白さを味わいながら、水遊びを楽しんでいきます。
- ・身振り手振りや簡単な言葉を使って自分の思いを表現し、思いが伝わる喜びを感じられるようにしていきます。

### <りす組>

継続して遊んできたテラスでの水遊びが変わってきました。3歳児の色水遊びを見て、自分たちも色水を作ってみたり、綿を水に入れて混ぜてみたりと、様々なことに挑戦する姿が見られるようになりました。室内では、おままごとをして楽しむ姿が見られます。人形のお世話を友達と一緒にしたり、料理を作って保育者と一緒に食べる真似を楽しんだり、園や家庭の生活をよりリアルに模倣して遊ぶようになりました。

子どもたちがやってみたいことができるように、様々なものに触れていながら、保育者も一緒に子どもたちと遊びを楽しんでいきます。



#### ねらい

- ・ごっこ遊びを楽しむ中で、近くにいる友達や保育者と一緒に遊び、友達との関わりを楽しむようにしていきます。
- ・水や砂だけでなく、花や葉っぱなどにも触れていながら、感覚遊びを楽しんでいきます。

### <うさぎ組>

色水遊びから遊びがどんどん発展し、製氷機に色水を入れて氷を作ったり、泡と色水を混ぜたりして楽しむ姿が見られます。

「これを凍らせたらどうなるかな？」と子どもの興味から色水や泡を凍らせることになりました。鮮やかな色の氷になり「きれい～」と思わず声が出ていました。さらに、花を紙に擦り付けて、お花から出る色でお絵描きのように楽しむことができる発見もありました。

遊びの中で生まれる「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、友達と一緒に試したり、様々な発見を楽しんだりしていきます。



#### ねらい

- ・友達と一緒に発見を共有しながらイメージを広げて遊ぶ楽しさを味わえるようにします。
- ・身の回りのことを少しずつ自分で行い、できた喜びを感じられるようにしていきます。

### <ぱんだ・こあら組>

プール遊びでは、水の冷たさを全身で感じながら元気に水しぶきをあげて楽しんでいました。回数を重ねるごとに水に慣れ、ビート板を使って浮かんだり、壁を蹴って進んだり、できることが増えてきています。「泳げた!」「できた!」と自信に繋がっています。

色水の氷を使った遊びが、かき氷作りへと広がっています。実際にかき氷機を使うと「かたい」と水と氷の硬さの違いに気が付いていました。また、「おきゃくさんこないから、うりにいこう」と、子どもたち同士でアイデアを出し合いながら遊びが発展しています。

友達や保育者とアイデアを出し合いながら遊ぶ中で、互いを認め合う気持ちを育んでいきます。

「うかんでるよ」



「かきごおりやさん  
ですよー」

ねらい

- ・自然物に触れて遊び、友達と驚きや発見を共有しながら探究できるようにしていきます。
- ・身体を動かす楽しさを味わいながら、挑戦する気持ちや友達と協力して成し遂げる達成感を味わえるようにしていきます。

### <ぞう・きりん組>

プールでは、「顔つけられるよ!」と自分から挑戦したり、ビート板を何枚か重ねて浮かぶ感覚を楽しんだりする姿がみられました。また、「水の中にペットボトルを入れると見えなくなる!みて!」と発見を友達に伝え、それを見た友達が「やってみたい!」と真似して試してみる場面もありました。水に触れて遊ぶ中で『やってみたい』という気持ちをもって試行錯誤したり、自分の発見を友達に共有したりする姿が増えてきています。

友達と発見や面白さを共有する中で『やってみたい』『どうしてだろう』という気持ちを大切に、子どもたちの気付きや探求する心を育んでいきます。



ペットボトル見え  
なくなったよ!

浮いてるよ!もっと  
重ねてみようかな~



ねらい

- ・友達と発見や気づきを伝え合い、興味や関心を広げながら、遊びを深めていけるようにしていきます。

### <かぜのじかん>

7月頃から保育者と一緒に楽しんでいるこま遊び。始めは2、3人で遊んでいましたが、友達の姿に興味を示し、少しずつ遊びに加わる子どもたちが増えてきています。そのなかで、回せず困っている同じクラスの友達や小さいクラスの友達がいたら、言葉や動作で伝えながら優しく教える姿があります。また、たくさん遊んでいるからこそその新たな発見や遊び方があり、友達同士で共有し合うとすぐに実践し、たくさん遊び込む子どもたちです。

これからも子ども同士や保育者と一緒に楽しみながら、様々なことに挑戦したり遊んだりしていきます。そのなかで、協調性や自己肯定感など、子どもたちの成長に欠かせない能力を育んでいきます。



こま相撲だ!

小指と薬指で  
紐を挟んで投げる!

こまの棒(軸)が  
見えるように巻くと  
いっぱい回るんだよ!



ねらい

- ・子ども同士や保育者と一緒に楽しみながら様々なことに挑戦していくなかで、協力したり自信をつけたりしていきます。